

## 「渡良瀬（わたらせ）川と渡良瀬橋」

7N4SGU 藤生 治美

「渡良瀬川」と言われてもピンとこない240各局でも「渡良瀬橋」といえばピンとくるでしょう。森高千里さんが1993年に発表した名曲ですね。

渡良瀬川は、栃木県上都賀郡足尾町から茨城県古河市で利根川に合流するまでの全長107kmに渡る川ですが、数多く架けられた橋の中で「渡良瀬橋」と名が付いているのは栃木県足利市にかかる1橋(?)のみです。その渡良瀬橋ですが、実は私の職場から徒歩10分で行けたりする(笑)森高さんの歌にあるとおり、渡良瀬橋から見える夕日が綺麗な足利の街。その素敵な光景をQSLカードにしたOMさんもいる位(笑)の絶景です。

かつて小学校の頃、遠足で行ったのが渡良瀬川。また出身高校はその渡良瀬川が目の前に見えていましたし、現在の職場も渡良瀬川流域。「うーん、振り返るとあたしって渡良瀬川に縁があるんじゃない??」って思い、あらためて渡良瀬川の事を調べてみました。

では、渡良瀬川が流れている市町村と軽い歴史などを紹介しましょう。

栃木県 足尾町、足利市、佐野市、藤岡町、小山市、野木町

水源地足尾町は足尾銅山鉱毒事件で有名です。鉱山開発による鉱毒により、足尾の豊かな自然は破壊され、山はハゲ山になりました。大雨が降ると水を貯めておく山林が無いので洪水がおき、下流域に大きな水害をもたらしました。

時の政府はこの洪水を緩和するため、下流の栃木県下都賀郡谷中村を廃村にし、この村は一面遊水池になりました。現在の「渡良瀬遊水池」です。春に行われる下草焼きは遊水池の名物詩になっています。

現在はスカイダイビングやグライダー等の名所として週末になると首都圏からたくさんの人たちが訪れますが、古くは多くの人々が暮らしていた一つの村だったのです。

群馬県 (勢多郡) 東村、黒保根村、大間々町、桐生市、  
太田市、館林市、板倉町

私の地元でもある群馬県。たくさんの市町村にまたがって渡良瀬川が流れています。この原稿が皆さんに読まれる頃には黒保根村が桐生市に編入されることでしょう。(黒保根村、新里村は平成17年6月13日に桐生市へ編入合併) 黒保根村は道の駅「くろほね やまびこ」がある緑豊かな山あいの村です。道の駅から車で20分程の所にある梨木温泉は群馬の温泉の中でも隠れ湯的温泉かな? (個人的憶測)

黒保根村から大間々町までは急流が続く渡良瀬川。元国鉄足尾線で、現在は第3セクターの「わたらせ渓谷鉄道」は名前の通りこの渡良瀬川の急流に沿って、桐生から足尾町まで線路が走っています。この絶景を眺めるのに最適とも言える(笑) 春から秋のあたたかい季節には窓無し全面パノラマビューの「トロッコ電車」が週末運行されています。乗ったことある? >おーちゃん(^\_^;

茨城県 古河市

南北に長い古河市。北部に市街地、店舗が集中する一方、南部は渡良瀬川に沿って田畑が広がっています。そしてその南部に利根川との合流地点があります。・・・あれ? 茨城県は古河市のみのね～。

埼玉県 北川辺町

同じく埼玉県で唯一渡良瀬川に面している北川辺町。とはいってもほんの一部だけですが。昨年通りがかったら、渡良瀬遊水池のほとりに道の駅が出来てビックリ(道の駅「きたかわべ」)

地図を広げてみると一目瞭然ですが、北東側は渡良瀬遊水池、南側は利根川に挟まれて、埼玉県とはいえ、北川辺町は他の町村からは孤立した地形になっているようです。

ちょっと話題はそれですが、道の駅といえば、今年3月に同じ埼玉県で「道の駅 庄和」が出来たようです。(国道4号線沿い) 庄和町は今年の10月に春日部市と合併する予定で「庄和町」の町名は消えるようですが、道の駅として名が残る事により、地元としては愛着が沸くでしょうね。

・・・といった訳でざーっと紹介してみました、いかがでしたでしょうか？

「渡良瀬橋」の話題に戻りますが、地元である足利市民も意外と知らないのが、歌中に出てくる「八雲（やくも）神社」。実は足利市内に**5つ！！**（も？）あるそうです。歌中に出てくる「八雲神社」は渡良瀬橋の1本上流に架かる橋である「緑橋」のたもとにある足利公園内（緑町）にあります。

白黒なのでかなり分かりづらいですが、市内5つに点在する八雲神社の位置を示した物が下記の地図です。『★』マークがついている所になります。見づらくかもしれませんが、観光の際にお役立てください。

足利は素敵な街だけど、それを観光に生かし切っていないような気がして非常に残念でなりません。この240誌を通して少しでも多くの方に足利の良さを知ってもらえれば嬉しく思います。

最後になりましたが、乱筆失礼いたしました>OM各局 de 7N4SGU

